

東亞天文協會

—(觀測部月報)—

流星課だより (78)

課長 小槇孝二郎

2月は1ヶ年を通じて流星の最も少ない月である。流星群としては1月下旬から2月の月上旬にかけて活動する牧夫座流星群($\alpha=213^\circ$, $\delta=+52^\circ$)が知られてゐるが流星は少い。しかし流星の統計的方面が近來著しく要求されてゐるので1~2時間を嚴冬の夜半に頑張ることも有意義である。

次に新觀測者三君を紹介する。

松橋高四郎 (Mh) 東京市下谷區入谷町341

金子 榮 (Kn) 群馬縣邑樂郡三野谷村入ヶ谷

川上 英 (Kw) 大阪市東區餌差町16 明星商業内

松橋君はすでに10月から觀測にあたつてゐられる。(流星課だより76, 77参照) 三君の御活躍を大いに期待する。

前回報告後到着したる觀測は吉井耕一(11月), 金子榮(9月), 川上英(12月) 松橋高四郎(12月)の諸氏のものである。他に本田實氏の火球報告がある。

筆者は昨年12月10~15日に亙つて雙子流星群の連續觀測を行つたが、最盛は14日の朝で一時間平均30個以上の同群に屬する流星が見られた。翌朝は1/3位に減じてゐた。

同月13日夜松橋氏は21時35分—22時15分の間に牛座 α 附近より放射する4個の流星を見てゐる。又筆者は13日朝大熊座 η 附近($\alpha=200^\circ$, $\delta=+50^\circ$)より放射する4~5個の流星を5時38分より10分間の間に見た。共に興味ある現象である。

(昭和13, 1, 2記)

9月及10月の觀測集計は次の通である。

觀測者	觀測地	九月			十月		
		回数	時間數	✓	回数	時間數	✓
小楨孝二郎	和歌山縣金屋				1	75	11
實方 雅雄	京 城 府	1	75	15	4	440	87
吉井 耕一	廣島縣竹原	3	146	15	12	1025	146
小楨 茂代	和歌山縣金屋	1	55	8	3	180	27
金子 榮	群馬縣三野谷	2	285	12			
松橋高四郎	東 京 市				3	190	18

遊星面録月報 (12月)

年末の多忙と悪シイイングに災されて、見取圖は1枚も受領出来なかつた。ここ當分は、冬の悪氣流に悩まされるが、時々良いシイイングにも出會はずからオリオン星雲を見たついでにもう西天低いが土星と、宵の明星となつた金星及羊座を逆行中で觀望に好都合の天王星、同じく獅子座を逆行中の海王星を觀て頂き度い。特に金星は8種の小口径にも相當の可能性があるので、篤志家はスケッチを取つて頂き度い。

昨1937年度中に受領した遊星面見取圖數を下記します。(E. D.)

	青木	奥村	大石	宗田	中野	寺田	田村	津久井	小林	前田	渡邊	龜島	安武	木邊	伊達
金 星	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
火 星	16	4	2	1	10	1	1	1	2	35	101	3	0	29	37
木 星	18	0	0	3	0	0	0	0	0	0	10?	0	3	0	7
土 星	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0

太 陽 課 だ よ り

去る12月3日早朝の部分日食は田村正三氏と津留繁雄氏は曇天、清水眞一氏は表紙の寫眞を送られたが、伊達英太郎氏も同様のものを撮られた由。木邊成麿氏曰く「12月ハ天氣ヨシ。上旬ハ極盛期トシテハ珍シク平靜デアツタガ、中旬ニ入ツテ相當活潑トナリ可ナリ著大ナ群モ出現シタ」勿論黒點の事である。

太陽課 黑點相對數報告 (1937年12月)

觀測者(觀測地)	齋藤 平(臺中市老松町)	坂上 務(鹿兒島市)	津留 繁雄(熊本市本莊町)	久保 康則(高知高等學校)	本田 實(廣島縣瀬戸村)	伊達英太郎(兵庫縣雲雀丘)	改發 香塲(神戸市關守町)	三宅 和夫(大阪府豊中市)	川上 英(大阪明星商業)	木邊 成磨(滋賀縣中里村)	正村 一忠(岐阜市溝旗町)	沓掛 七二(長野縣青木村)	大石 辰次(静岡縣吉永村)	淺居 正雄(横濱保土谷區)	森久保 茂(横濱市中區)	堀山 泰生(横濱市鶴見區)	御供 印孝(東京市立一中)	菊池 芳雄(岩手縣水澤町)	田村 正三(函館市宮前町)
鏡徑 mm	50	60	32	75	50	80	150	50	110	75	25	102	55	58	45	38	45	50	58
倍率	50	40	50	53	59	70	68	88	40	60	48	75	64	60	60	50	50	50	64
1		曇	0	23	曇	缺	缺	0	24	雨	曇	33	23	缺	缺	0	0	雪	(
2		ク	0	22	47	ク	ク	0	36	34	ク	22	22	ク	ク	11	11	曇	缺
3		ク	曇	49	61	ク	ク	0	59	11	ク	11	58	ク	ク	0	0	雪)
4		ク	曇	12	12	ク	ク	0	37	12	ク	12	12	ク	ク	0	0	雪	
5		ク	曇	14	14	ク	ク	0	37	12	ク	26	47	ク	ク	0	0	雪	
6		48	26	52	58	86	86	25	51	51	曇	37	65	缺	缺	36	36	ク	
7		61	37	58	76	96	96	61	81	81	曇	87	93	ク	ク	70	70	ク	
8		58	24	54	69	69	57	74	46	74	曇	83	62	ク	ク	35	35	ク	
9		雨	23	69	55	55	45	74	47	63	曇	63	76	ク	ク	11	11	ク	
10		46	24	曇	缺	缺	曇	12	94	曇	40	40	曇	ク	ク	11	11	曇	
11		61	13	67	忙	68	120	曇	75	43	曇	38	53	66	66	79	79	ク	
12		75	24	62	70	78	147	曇	55	71	曇	43	55	56	56	93	93	ク	
13		105	52	90	曇	115	缺	87	95	58	115	50	117	缺	120	108	108	ク	
14		129	44	123	144	116	152	76	78	85	123	61	139	86	148	130	130	缺	
15		158	65	159	172	189	155	曇	95	134	曇	203	203	162	162	148	148	缺	
16		189	63	168	173	189	缺	129	131	110	152	94	126	ク	ク	142	142	曇	
17		曇	55	120	150	150	222	123	149	曇	138	曇	126	ク	ク	128	128	曇	
18		雨	65	109	118	169	221	143	曇	115	曇	92	142	雨	雨	139	139	曇	
19		155	曇	96	94	124	缺	109	79	62	曇	曇	曇	ク	ク	51	51	曇	
20		曇	ク	95	98	123	ク	缺	115	88	曇	曇	曇	ク	ク	51	51	曇	
21		ク	ク	92	曇	缺	ク	雨	108	曇	曇	ク	ク	91	101	ク	ク	曇	
22		*	44	74	81	102	ク	39	80	48	95	31	90	93	87	87	87	曇	
23		*	35	80	96	112	ク	66	75	51	88	54	79	87	87	87	87	曇	
24		116	雨	雨	雨	缺	ク	雨	曇	雨	曇	72	72	雨	雨	曇	曇	曇	
25		194	55	126	128	160	(旅行中缺測)	94	曇	曇	曇	76	76	忙	忙	忙	忙	曇	
26		196	77	104	*	138	69	69	ク	ク	ク	ク	ク	98	87	115	89	曇	
27		156	曇	102	病	150	86	86	ク	ク	ク	ク	ク	76	76	118	93	曇	
28		144	83	107	ク	152	101	144	ク	ク	ク	ク	ク	92	92	121	119	曇	
29		曇	曇	107	ク	缺	曇	曇	104	曇	曇	曇	曇	ク	ク	82	105	96	
30		病	69	136	忙	166	142	142	曇	曇	曇	曇	曇	ク	ク	83	149	159	
31		曇	曇	142	ク	158	135	159	曇	曇	曇	曇	曇	ク	ク	100	100	缺	
日數	18	23		29	17	22	10	23	24	15	15	24	17	13	15	19	6	5	
平均	108	39		87	102	111	116	68	89	57	106	58	84	84	112	75	—	—	

*坂上氏22日は器械修理、伊達氏26日は Seeing 非常に悪く観測不能。☑御供氏26-30日は樫淵氏の観測。☑本田氏の寫生、正村氏の肉眼可否、沓掛氏の緯度報告は例月通り。
☑會員たる津留繁雄氏(熊本市本莊町608)の御参加を歓迎いたします。☑斎藤氏は御不快のため御休養中。☑多忙な年末にも拘らず充實した御報告が集まりました。 — P —

ミラ型變光星1938年度の極大、極小豫報

變光星課幹事 今津 續

星名	週期	極大豫定日	星名	週期	極大豫定日
	日	月日 月日 月日		日	月日 月日 月日
R And	407	11 4	R Leo	315	2 18, (11 1), 12 28
R Aqr	358	11 22	R Lep	440	(1 12), 4 24
T Aqr	202	5 7, 11 25	RS Lib	214	6 1
Z Aqr	136	4 4, 8 18	T Mic	338	2 16
R Aql	301	6 9	V Mon	333	11 1
RT Aql	328	9 23	X Mon	151	5 27, 10 25, 翌3 25
R Cnc	370	6 11	R Oph	302	8 19
V Cnc	273	6 26	V Oph	301	4 25, (9 30)
R CMi	331	11 3	X Oph	332	8 12
S CMi	338	2 3	S Ori	405	3 31
		(1 4), 2 24, (4 5)	U Ori	377	1 30
T Cen	91	5 29, (7 5), 8 25	R Peg	380	11 12
		(10 4), 11 24, (翌1 3)	S Peg	320	2 6
T Cep	396	7 21, (翌1 26)	RT Sge	298.5?	4 3?, 翌1 26?
o Cet	332	(5 14), 8 25	ST Sge	193	3 19, 9 28
T Cet	158	3 5, (5 14), 8 9	R Sgr	268	8 17
U Cet	237	5 1, 12 24	T Sgr	396	8 2
W Cet	346	4 17	RR Sgr	331	6 24
T Col	224	6 8	RV Sgr	318	4 28, 翌3 12
R Crv	323	8 26	RR Sco	279	2 23, 11 30
χ Cyg	413	7 1	R Scl	376	6 17 (材料少し)
RZ Cyg	546	3 15	S Scl	359	10 8
V363 Cyg	350	6 30	R Ser	353	10 6
AU Gem	440	8 19			(1 15), 3 29, (9 12)
S Her	319	4 10	Y Tau	240	11 24
U Her	401	8 14	R Tri	268	1 22, 10 14
R Hya	415	1 20, (6 21)	R Vir	147	5 17, 10 11
S Hya	260	8 24	S Vir	380	10 22
T Hya	283	5 25, 12 24	RS Vir	356	8 11
V Hya	527	4 11, (7 4)	SS Vir	354	6 18
W Hya	372	8 7	SW Vir	157	5 10, 10 13, 翌3 9
			SX Vul	430	1 24, 翌3 30
			BD Vul	434	11 29

〔註〕 括弧内は極小豫定日である。天文協會員の觀測、天文月報第30卷第11號神田茂氏の豫報、獨國變光星年鑑を材料にした。變光範圍は天界175號、光度曲線の型は同177、178號を参照の事。